

関東3地区

高校生のための心理学講座シリーズ
心理学と社会 —こころの不思議を解き明かす—

2017年 9月23日(土) 10:30~16:30

参加費無料・事前申込制
定員100名(先着順)

新潟大学 駅南キャンパスときめいと

JR「新潟駅」南口から徒歩3分 <https://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html>
※筆記用具をご持参ください。上靴は必要ありません。※昼食は近くに飲食店、コンビニエンスストアがあります。弁当持参可。

◆ 企画：鈴木 光太郎（新潟大学）・中島 伸子（新潟大学） ◆ 司会：中島 伸子

10:30-11:20 心理学はどんな科学か？ (心理学史)	鈴木 光太郎 (新潟大学)	心を研究する「心理学」とはどのような科学なのでしょう。そもそも「心」とはなにを指すのでしょうか。この講義では、心理学という科学がどのように登場し、その知識がどのように用いられているか、また大学ではどのように教えられているのかについて解説しながら、心理学があつかう「心」について考えてみます。
11:30-12:20 心はいつ生まれるか？ (発達心理学)	白井 述 (新潟大学)	いま自分に心があることは確信できるとしても、自分がいつから心を持つようになったのか明確に答えることは難しいように思えます。発達心理学は、成長過程において心の諸側面がどのように変化するかを調べる学問です。今回の講義では、生まれたばかりの赤ちゃんを対象にした研究の例から、私たちの心の起源について考えます。
13:30-14:20 チンパンジーからヒトの心を探る (比較心理学)	伊村 知子 (新潟国際情報大学)	心は人間だけのものなのでしょうか。人間以外の動物にとって、世界はどのように感じられるのでしょうか。比較心理学では、私たちの心のはたらきを様々な動物と比較することによって、ヒトの心がなぜ、どのようにして生まれたのかを探ります。この講義では、進化の隣人、チンパンジーとの比較からヒトの心の特徴を考えます。
14:30-15:20 心を測る (計量心理学)	杉澤 武俊 (新潟大学)	「心を測る」というと、みなさんはどのようなことを想像しますか。心理学は、人の様々な心理的特徴を数値としてとらえることで、科学としての道を歩んできました。この講義では、心という目に見えないものを本当に測定することができるのか、そしてそれが可能だとすると、どのようにすれば測定できるのかについて考えてみます。
15:30-16:20 社会的な心 (社会心理学)	福島 治 (新潟大学)	私たちは社会の中で生活しています。そこには家族や友人をはじめ、様々な人があり、様々な集団があり、私たちは様々な状況に置かれます。そのようなとき「心」はどのような影響を受け、どのように働くのでしょうか。この講義では、社会の中での「心」の働きを知るために心理学が行ってきた研究例をお話しします。

★ 参加申込方法 ★

- ▶ Faxでのお申し込みは以下のFax申込フォームにてお申し込みください (Fax番号 03-3814-3954)
 - ▶ メールまたは往復はがきでのお申込み
- 「関東3地区参加希望」と明記の上、住所、氏名、年齢、所属(高校名・学年等)、電話番号をお知らせください。
- ※ 複数名でのお申し込みの場合も、皆さま分の情報をお知らせください。
- 〒113-0033 東京都文京区本郷5-23-13 田村ビル 公益社団法人 日本心理学会 メールアドレス: jpa-highschool@psych.or.jp
- ※ お申し込みいただいた順に受付番号をEメール、Fax、はがきにてお知らせしますので、住所、Fax番号、メールアドレスを必ずご記入ください。
- ※ 往復はがきでお申し込みの方は、返信用はがきに住所をご記入ください。
- ※ 高校生、教職員の方向けの講座ですが、保護者の方、一般の方の参加も歓迎いたします。ご一緒にお申し込みください。

Fax 申込フォーム【関東3地区】

フリガナ		学校名	_____ 高等学校	
参加者氏名	(男・女)	学 年	() 学 年	
住 所	〒 _____			
メールアドレス			年 齢	
Fax番号				
電話番号				

※ お知らせいただいた個人情報は、本事業の受付目的にのみ使用します。